令和9年度(2027 年度)京都市立芸術大学大学院
美術研究科博士(後期)課程学生募集要項

【目次】

第 1 募集人員 ---------- 1

第 2 出願資格(一般選抜) ---------- 1

第 3 資格認定希望者提出書類 ---------- 2

第 4 出願手続 ---------- 3

第 5 受験票 ---------- 8

第 6 試験日程及び選抜試験内容等 ---------- 9

第 7 合格発表 ---------- 20

第 8 入学手続 ---------- 20

第 9 個人情報の取り扱いについて ---------- 21

第 10 美術研究科博士(後期)課程の概要 ---------- 22

第 11 履修課程及び修了要件 ---------- 23

第 12 授業等の内容 ---------- 23

論文博士について ---------- 27

【問合せ先】
京都市立芸術大学 教務学生課 入試担当
〒600-8601 京都市下京区下之町 57-1
TEL:075-585-2005
E-mail:admission-arts@kcua.ac.jp

－大学院美術研究科博士（後期）課程の教育・研究目的－

美術研究科博士（後期）課程は、専門分野についての理論的な考察と実践によって次世代を担う芸術家及び研究者を養成し、また高度な創造と研究を通して、国内外の芸術文化に貢献することを目的とします。

◆アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

美術研究科博士（後期）課程は、次のような学生を求めています。

1　芸術に関する専門性を持ち、芸術および文化に対して幅広い興味、深い理解を有する人
2　独自の表現と研究方法による、芸術と世界との新たな関係性の創造に意欲的である人
3　研究成果を社会に発信する能力の確立に積極的である人

入学前に身につけてほしい力
美術研究科博士（後期）課程は、以下のような能力を入学までに身につけることを期待します。

■　美術専攻

【日本画】
・これまでの日本画表現を誠実かつ客観的に検証し、伝承と創造を構築する探究力
・地域文化や時代を俯瞰する総合的かつ論理的な知見に基づいた思考と表現力
・自らの絵画制作経験から見出された研究課題を有し、その解決のために幅広く学ぶ向上心と自律的な制作姿勢
・自身の制作を批判的に検証し客観的に言語化することができる姿勢及び言語能力

【油画】
・修士課程修了程度の美術や絵画に関する知識やスキル
・先行事例や先行研究に照らして、自らの主題を吟味し展開していく力
・絵画的手法を中心として、主題に見合った独自の表現手法を構築する姿勢
・研究内容を論理的に言語化する能力と、それを積極的に公表する意欲

【彫刻】
・時間や空間の経験を実感できるものに変換するという彫刻の特性を理解した上で、より新鮮な経験を探求する力
・そのような経験の実現に必要な素材や技法について幅広く探求する力
・そのような経験を新しい概念として社会と共有するために、言語化や論述の方法について探求する力

【版画】
・新規性のある研究制作テーマを設定し、表現の可能性や創造の本質を問う力
・歴史、技法、素材に関する幅広い知識と専門性
・版画、版の原理、版的思考を批評的に捉え論理的に言語化できる力

【構想設計】
・継続可能な専門研究と作品制作を探求できる力
・個による探求力に加えて異分野を含む協働的なリサーチ力
・専門知を社会に共有化するための論述力

【総合デザイン】
・独自の視点を持つ研究テーマを発見し、社会に新たな視座をもたらす力
・入念なリサーチと検証によって研究テーマを鍛え上げる論理力
・自らの意見や主張を共有化することの出来る論述力
・社会の諸課題について、幅広い知識を総合し、その解決に取り組む意欲、経験とデザイン能力

【デザイン B】
・デザインだけでなく人文・社会科学など、分野を越えた学識やスキルに基づく観察力や表現力
・自分と相互につながっている他者や文化、自然のことを積極的に学び、交わりながら、作品制作に携わる姿勢
・絶えず変化する社会やデザインのことを学び続け、最良のアウトプットを模索し続ける姿勢
・作品制作のためのデザインスキル、そして、学術論文執筆のための最低限のスキル

【陶磁器】
・陶磁器の歴史、技法、素材に関する豊富な専門知識と論理的思考力
・博士研究に必要な高度で専門的な作品制作能力
・多角的な視点で俯瞰して陶磁器を捉え批評する論述能力
・研究成果を社会に発信し共有する能力

【漆工】
・漆工や木工に関する幅広い知識と専門性
・漆工や木工分野に関する表現や研究手法における独自性
・研究内容を論理的に言語化する能力
・研究成果を社会に発信する能力

【染織】
・染織に関する幅広い知識と専門性
・社会、歴史、自然などとの関係も視野に入れた、具体的な研究テーマの展望
・自身の研究内容を論理的に言語化し、それを実現できるスキル
・研究成果を社会に発信する能力

【産業工芸・意匠】
・専門分野の知識を基盤としながら、分野を横断し、協働・研究する能力
・独自の表現による創造と、それを論理的に言語化する能力
・研究成果を社会にむけて発信し、展開する能力

【芸術学】
・対象となる事象に関する情報や先行研究を批判的に検討し、未解明の課題を見出して自身の研究テーマとして設定する能力
・必要な資料の収集や実践的検証のための計画立案を行い、その読解ならびに実施の結果を客観的に論述する能力
・関連諸分野への広い興味を持つとともに、自身の研究とその意義について他者に分かりやすく伝達する能力

【保存修復】

・研究分野に関する広く深い知識と造形表現等の専門的技術
・研究分野の状況を分析し、それに基づいて独自性のある明確な研究課題を設定し、研究を計画する力
・自らの考えを文章やプレゼンテーションで論理的に他者に伝える力

【リベラルアーツ】

・専門性の萌芽:学術あるいは芸術のいずれかにおける一定の探究経験
・芸術への関心と理解:芸術に対する開かれた知的関心と尊重の姿勢を伴う理解力
・学術的思考と表現の基本:研究テーマに基づいて調査・分析を行い、学術的な文献や資料を適切に参照しながら、自らの考えを文章にまとめる構成力・表現力
・柔軟で対話的な姿勢と新たな問いをつくる意欲:特定の分野に閉じず、異なる領域から学び取ろうとする柔軟性と意欲

入学試験の基本的な考え方・方針

美術研究科博士（後期）課程の入学試験は、学力検査（語学、作品、論文、口述）、提出書類を総合して判定します。

◆カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

美術研究科博士（後期）課程は、以下の考え方に基づき、カリキュラムを編成し、実施します。

1　各領域に特化した専門家による演習を介し、創造及び研究の実践に必要な高度な専門知識や技術を習得すること
2　領域横断的観点を有する識者との討論、演習等により、先鋭的創造及び研究を行う能力を身につけること
3　美術の今日的問題や研究課題に関する講義、討論、ワークショップを通し、研究成果の社会的発信力を養うこと

◆ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

美術研究科博士（後期）課程は、修了時までに達成すべき目標を以下のとおりとします。

1　あまねく芸術、文化、社会に関する事象から導かれる高度な専門性の修得
2　尖鋭な視点と広範な視野に基づく、新たな地平を創造し得る表現や研究方法の確立
3　創造および研究活動の成果を社会に発信、展開し、新たな芸術文化の牽引者たり得る能力の修得

第１　募集人員

美術研究科博士(後期)課程

標準修業年限３年

専　　攻	研　究　領　域	募集人員
美　　術	日　本　画 油　　画 版　　画 構 想 設 計 彫　　刻 総合デザイン デ ザ イ ン B 陶　磁　器 漆　　工 染　　織 産業工芸・意匠 芸　術　学 保 存 修 復 リベラルアーツ	16名

注　出願は、一つの研究領域に限る。

第２　出願資格（一般選抜）

１　一般選抜　※⑴～⑻　のいずれかに該当する必要があります。

⑴ 修士の学位または専門職学位を有する者及び令和９年３月31日までに取得見込みの者

⑵ 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月31日までに授与される見込みの者

⑶ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月31日までに授与される見込みの者

⑷ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月31日までに授与される見込みの者

⑸ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び令和９年３月31日までに授与される見込みの者

⑹ 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設または国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

⑺ 文部科学大臣の指定した者(平成元年文部省告示第118号)

⑻ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和９年３月31日までに24歳に達する者

注　出願資格⑻の資格認定を希望する者は、出願資格認定審査等の手続きを要するため、「第３　資格認定希望者提出書類」を参照し、必要な書類を期限までに提出してください。

2　社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜

特別選抜とは、大学院における専門教育の開放と交流を目的とし、選抜試験のうち語学試験を免除するもので、一般選抜の出願資格のいずれかに該当する外国人留学生及び一般選抜の出願資格のいずれかに加えて以下の(1)～(3)のいずれかに該当する社会人を対象とします。

(1) 出願時において各種の企業、研究機関又は教育機関に正規職員として勤務し、入学後もその身分を有し、所属長から推薦を受けた者
(2) 出願しようとする研究領域に関連した職種に 3 年以上の勤務経験を有すると本大学院が認めた者
(3) 出願しようとする研究領域に関連した活動を 3 年以上行っていると本大学院が認めた者

注　特別選抜による受験を希望する者は、出願資格認定審査等の手続を要するため、「第 3　資格認定希望者提出書類」を参照し、必要な書類を期限までに提出してください。

第 3　資格認定希望者提出書類

(1) 個別の出願資格認定を希望する者（第 2 出願資格　1 一般選抜(8) に該当する者）

令和 8 年 12 月 1 日（火）〔必着〕までに教務学生課入試担当へ以下の書類（A4 縦長・横書き）を郵送すること（持参不可）。封筒表面に「美術研究科博士課程　出願資格認定審査希望」と朱書してください。結果は令和 9 年 1 月 4 日（月）までにお知らせします。

【提出書類】
・（様式 1）出願資格認定審査申請書（本募集要項の最後に掲載）
・履歴書（卒業・修了後の経歴を具体的に記載したもの。押印のうえ、写真を貼付）
・業績書（志望研究領域、著書、論文、展覧会出品歴、受賞歴等を記載したもの）（A4 縦長・横書）

※出願資格と社会人又は留学生特別選抜の両方の資格認定を希望する場合は、以下(2)、(3)に記載する書類を提出してください。

(2) 社会人特別選抜の資格認定を希望する者

令和 8 年 12 月 1 日（火）〔必着〕までに教務学生課入試担当へ以下の書類（A4 縦長・横書き）を郵送すること（持参不可）。出願資格と社会人特別選抜の両方の資格認定を希望する場合はこちらの書類のみ提出してください。

封筒表面に「美術研究科博士課程　社会人特別選抜審査希望」と朱書してください。結果は令和 9 年 1 月 4 日（月）までにお知らせします。

【提出書類】
・（様式 2）社会人・留学生特別選抜資格認定審査申請書（本募集要項の最後に掲載）
・履歴書（卒業・修了後の経歴を具体的に記載したもの。押印のうえ、写真を貼付）
・業績書（志望研究領域、著書、論文、展覧会出品歴、受賞歴等を記載したもの）（A4 縦長・横書）
・所属長の推薦書（出願時において各種の企業、研究機関又は教育機関に、正規職員として勤務し、入学後もその身分を有し、所属長より推薦を受けた者のみ）

(3) 留学生特別選抜の資格認定を希望する者

令和 8 年 12 月 1 日（火）〔必着〕までに教務学生課入試担当へ以下の書類（A4 縦長・横書き）を郵送すること（持参不可）。出願資格と留学生特別選抜の両方の資格認定を希望する場合はこちらの書類のみ提出してください。

封筒表面に「美術研究科博士課程　留学生特別選抜審査希望」と朱書してください。結果は令和 9 年 1 月 4 日（月）までにお知らせします。

【提出書類】
・(様式 2)社会人・留学生特別選抜資格認定審査申請書(本募集要項の最後に掲載)
・履歴書(卒業・修了後の経歴を具体的に記載したもの。押印のうえ、写真を貼付)
・業績書(志望研究領域、著書、論文、展覧会出品歴、受賞歴等を記載したもの)(A4 縦長・横書)
・所属長の推薦書(出願時において各種の企業、研究機関又は教育機関に、正規職員として勤務し、入学後もその身分を有し、所属長より推薦を受けた者のみ)
・日本語能力証明書(公的機関又は学習した機関による証明書。学習期間が記載され、読む能力、書く能力、話す能力ごとにレベルのわかる内容のもの)

第４　出願手続

インターネット出願システムを利用し、出願情報等の必要事項を登録のうえ、必要書類を提出期間内に簡易書留・速達郵便で郵送してください。

１　必要なインターネット環境

パソコン	Windows: Microsoft Edge(最新バージョン) GoogleChrome(最新バージョン)、Firefox(最新バージョン)
	MacOS　: Safari(最新バージョン)
スマートフォン タブレット	Android　:14.0 以上(Android Chrome 最新バージョン) iOS　　: 17.0 以上(Safari 最新バージョン)

(1) どのウェブブラウザでも、以下の設定を行ってください。
・JavaScript を有効にする。
・Cookie を有効にする。
(2) セキュリティソフトをインストールしている場合、インターネット出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問い合わせてください。

２　出願手順

（１）アカウント作成　※Post@net のアカウントをお持ちでない場合

インターネット出願登録サイトの利用にはアカウントが必要になりますので、下記の手順でアカウントを作成してください。既にアカウントをお持ちの方は、⑦から始めてください。

【アカウント作成の流れ】

① 京都市立芸術大学ホームページ(https://www.kcua.ac.jp/admission/internet_application/)にアクセス。
②「インターネット出願受付」をクリックして出願ページを開きます。
③ Post@net のログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。
④ 利用規約に同意した後、メールアドレス・パスワードを入力して「登録」ボタンをクリック。
⑤ 入力したメールアドレス宛てに、仮登録メールが届きます。
⑥ 仮登録メールの受信から 60 分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。
⑦ ログインの際には、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。
⑧「学校一覧」から「京都市立芸術大学」を検索し、お気に入り学校の登録をしてください。

※アカウント作成の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール(Gmail や Yahoo!メールなど)や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン(@kcua.ac.jp、@postanet.jp)を受信指定

してください。出願登録完了時・入学考査料支払い完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。

▼

（２）インターネット出願登録期間・方法

令和 9 年(2027 年)1 月 4 日(月)から **1 月 14 日（木）17 時 00 分**まで

本学のインターネット出願登録サイトにアクセスし、出願情報等の必要事項を登録してください。

【出願登録の流れ】

① 留意事項の確認

② 入試区分の選択

③ 試験日・研究領域・試験会場等の選択

④ 志願者情報(氏名・住所等)の入力・顔写真データの登録

※顔写真データの詳細は「第4-3 (1) インターネット出願時に必要な書類(5 ページ)」のとおり

⑤ 出願内容の確認

⑥ 支払方法の選択

※志願者情報の入力・確認画面では、必ず入力した内容(特に生年月日・電話番号・住所)に誤りがないか十分に確認してください。志願者情報の確認画面を過ぎると内容の変更ができません。

※入力する氏名は戸籍名と同一のこと。外国籍の場合は、住民票の写しに記載されている氏名と同一のこと。その他の書類についても同様とします。

※志望研究領域の出願後の変更は認めません。

▼

（３）入学考査料 17,000 円の支払い

令和 9 年(2027 年)1 月 4 日(月)から 1 月 14 日(木)23 時 59 分 59 秒まで

インターネット出願完了後、コンビニエンスストア、クレジットカードのいずれかにより、指定された期間までに入学考査料をお支払いください。支払いの際に決済手数料が発生します。なお、お支払い後、入学考査料は一切返還しません。

【支払い方法】コンビニエンスストアを選択した場合

支払いに必要な番号が表示されますので、必ずメモしてください。

【支払い方法】クレジットカードを選択した場合

インターネット出願登録サイトでカード情報を入力し、決済完了すると入金完了メールが通知されます。

※入学考査料支払いの領収書は提出不要です。控えとして保管してください。

※クレジットカード支払いの場合、出願登録と同時に入学考査料の支払いが完了しますので、出願内容に誤りがないよう確認してください。

※入学考査料の支払い後に出願情報(住所・氏名・電話番号等)に誤りや変更が生じた場合は、教務学生課入試担当までご連絡ください。

▼

（４）必要書類の印刷・送付（詳細は「３ 出願に必要な書類等」のとおり）

令和 9 年(2027 年)1 月 4 日(月)から **1 月 14 日（木）まで（消印有効）**

※1 月 14 日(木)以前の消印で、1 月 20 日(水)までに本学に到達した出願書類を受理します。

① インターネット出願登録サイトから Web 入学志願票等の書類を印刷してください。

② 出願用封筒(市販の角形 2 号封筒(240mm×332mm))を用意し、封筒貼付用宛名シート(A4 判、カラー推奨)を貼り付けてください。

※封筒貼付用宛名シートの出力ができない場合は、直接封筒に記入してください。

③ 印刷した Web 入学志願票等の必要書類を封筒に入れ、「簡易書留・速達」で郵送してください。

※Web 入学志願票等の必要書類については、入学考査料の支払い後に「出願内容の確認」から取得が可能です。支払いが完了しても状態が『決済済』に反映されていない場合は、暫く時間をおいてから再度「出願内容一覧」を確認してください。

送り先

〒 600-8601

京都市下京区下之町 57-1　京都市立芸術大学教務学生課入試担当

TEL：075-585-2005

▼

（５）受験票印刷

必要書類の受理、入学考査料の入金を確認した後に、本学から「受験票ダウンロードメール」をお送りします。インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロードし、試験当日までにご自身で印刷してください。

※印刷時、ページの拡大・縮小はせずに A4 で印刷してください。

3　出願に必要な書類等

(1)　インターネット出願時に必要な書類

書　類		摘　要
①	顔写真データ	最近 3 か月以内に撮影した上半身・無帽・正面向き・背景なしのもの。 ※ファイルの形式は JPEG、容量は 3MB 以下のデータがアップロード可。 ※不鮮明なもの・加工されているものは不可。 ※出願時に登録された写真データは、入学後学生証に使用しますので、ご留意ください。 ※インターネット出願登録サイトにアップロードして使用します。

(2)　インターネット出願登録サイトからダウンロードして大学に提出するもの

書　類		摘　要
①	Web 入学志願票 及び履歴書	入学考査料の支払い後に印刷(A4 判、モノクロで可)してください。 ※Web 入学志願票と履歴書は、両面印刷で提出すること。

②	誓約書	入学考査料の支払い後に印刷(A4 判、モノクロで可)し、氏名欄に氏名を手書き(自署)してください。①の書類と同じファイルでダウンロードされます。
③	封筒貼付用宛名シート	入学考査料の支払い後に印刷(A4 判、カラー推奨)してください。 印刷後、各自が準備する角形 2 号封筒(240mm×332mm)に貼付してください。

(3) 上記(2)に加え、各自が準備して大学に提出するもの

書 類		摘 要
①	成績証明書(原本)	出身大学院の学長又は研究科長が作成したものを提出してください。 ※外国語で記載された書類を提出する場合は、必ず日本語訳を添付すること。出願者が訳したものでも構いません。 ※中国の大学院修士課程を修了された方は、CHSI(中国高等教育学生信息網)が発行する有効期限内の「成績認証書」を PDF で入手後、A4 サイズで印刷して提出してください。必ず日本語訳を添付すること。
②	修士(博士前期)課程修了証明書又は修了見込証明書(原本)	出身大学院の学長又は研究科長が作成したものを提出してください。 ※外国語で記載された書類を提出する場合は、必ず日本語訳を添付すること。出願者が訳したものでも構いません。 ※中国の大学院修士課程を修了された方は、CHSI(中国高等教育学生信息網)が発行する有効期限内の「学歴認証書」をPDF で入手後、A4 サイズで印刷して提出してください。必ず日本語訳を添付すること。
③	学位取得証明書又は学位取得見込証明書 ※該当者のみ	外国の大学の修士課程を修了された方で、①修士(博士前期)課程修了証明書又は修了見込証明書に学位の記載がない場合は、 出身大学院の学長又は研究科長が作成した学位取得証明書又は学位取得見込証明書を併せて提出してください。 ※②修了(見込)証明書の提出も必要です。 ※外国語で記載された書類を提出する場合は、必ず日本語訳を添付すること。出願者が訳したものでも構いません。 ※中国の大学院修士課程を修了された方は、CHSI が発行する「学位認証書」を提出してください。必ず日本語訳を添付すること。
④	パスポートの写し ※外国人留学生のみ	外国人留学生(本学研究留学生を含む)は、パスポート(顔写真のあるページ)の写しを提出してください。
⑤	日本語能力に係る証明書類 ※外国人留学生のみ	以下の(1)または(2)のいずれかの書類を提出してください。 (1) 日本語能力試験等の証明書 以下の①～④のうち、いずれか 1 つの証明書類(原本)を提出してください。 **① 日本語能力試験(JLPT)** 公益財団法人日本国際教育支援協会および独立行政法人国際交流基金が実施している日本語能力試験(JLPT)**N2 以上**の「認定結果及び成績に関する証明書」を提出してください。 ※「日本語能力認定書」や「合否結果通知書」では受付できません。

		② 日本留学試験(EJU) 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)が実施している日本留学試験(EJU)「日本語(読解・聴解・聴読解)」**200 点以上**の「成績通知書」または「成績証明書」を提出してください。 **③BJT ビジネス日本語能力テスト** 公益財団法人日本漢字能力検定協会が実施している BJT ビジネス日本語能力テスト **400 点以上**の「成績証明書(Score Report)」を提出してください。 **④JPT 日本語能力試験** 一般社団法人日本語能力試験実施委員会が実施している JPT 日本語能力試験 **525 点以上**の「成績証明書」を提出してください。 ※「日本語能力認定書」や「合否結果通知書」ではありませんので、提出する書類を間違えないように注意してください。 ※証明書の発行には時間がかかる場合がありますので、余裕を持って申請してください。 ※上記①～④の試験において、出願時点で要件を満たす成績証明書を未取得の者で、入学までに取得見込みの者は、令和 9 年(2027 年) 3 月 3 日(水)までに提出してください。期日までに提出がない場合、合格を取り消します。 (2)日本語能力証明書(本学指定様式) ※認定又は告示日本語教育機関による 600 時間以上の課程を修了又は在籍している旨の証明書を、本学指定様式により提出してください。 ※様式は本募集要項の最終ページのものを使用してください。 ※認定又は告示日本語教育機関による 600 時間以上の課程を在籍している旨の証明書を提出した場合、認定又は告示日本語教育機関による 600 時間以上の課程を修了した旨の証明書を令和 9 年(2027 年) 3 月 3 日(水)までに本学指定様式により提出してください。期日までに提出がない場合、合格を取り消します。
⑥	戸籍謄本や運転免許証の写し等 ※該当者のみ	各種証明書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等(戸籍抄本や運転免許証の写し等)を添付すること。
⑦	全研究領域共通小論文、作品・論文等	「第6 試験日程及び選抜試験内容等」に従って提出すること。 ※出願する領域や提出物によって締切が異なるため、注意すること。

4　入学考査料の支払い方法について

(1)　コンビニエンスストアでの支払い

	手順
デイリーヤマザキ/ ヤマザキデイリーストアー	インターネット出願登録サイトの画面に表示されたオンライン決済番号をレジで知らせる
ローソン/ミニストップ	① インターネット出願登録サイトの画面に表示された「お客様番号」「確認番号」を控える ② Loppi(ロッピー)の「各種番号をお持ちの方」ボタンを押す ③「お客様番号」「確認番号」を入力 ④「申込券」を発券し、発券から 30 分以内にレジへ
セイコーマート	① インターネット出願登録サイトの画面に表示された「オンライン決済番号」を控える ② レジで「インターネット支払い」と知らせる ③ お客様側レジ操作画面に、「オンライン決済番号」をハイフンを除いて入力し、登録をタッチ ④ 支払内容を確認し、代金お支払い
ファミリーマート	【マルチコピー機を使用する場合】 インターネット出願登録サイトの画面に表示された「お客様番号」「確認番号」を控える ① マルチコピー機の「代金支払い／チャージ」を押す ②「番号入力」を押す ③「お客様番号」「確認番号」を入力 ④ 発券された申込券を 30 分以内にレジへ 【スマホバーコード決済を使用する場合】 ※スマートフォン、タブレットのみで利用可 ① Post@net の「出願内容一覧」→「出願内容を確認」→「コンビニ情報再確認」画面から、「バーコードを表示する」を選択 ② 表示されたバーコードを 10 分以内にレジへ
セブンイレブン	①「払込票」を印刷またはインターネット出願登録サイトの画面に表示された「払込票番号」を控える ② 印刷した「払込票」を渡す、またはレジで「払込票番号」を知らせる

(2)　クレジットカードでの支払い

インターネット出願登録サイトでカード情報を入力してください。出願登録完了と同時に入学考査料のお支払いが完了しますので、その後の登録内容の変更はできません。

注 1　支払方法を選択する前に支払手続画面を終了した場合、Post@net で次のように手続を行ってください。

① Post@net の「出願内容一覧」から、京都市立芸術大学の出願登録が完了していることを確認

② 出願一覧から「出願内容を確認」ボタンをクリックして、出願内容の詳細画面を表示

③ 詳細画面下部にある「支払方法再選択」 ボタンをクリックして支払手続を再開

2　コンビニエンスストアの支払いに必要な番号等を控えるのを忘れた場合、Post@net で次のように確認できます。

① Post@net の「出願内容一覧」から、京都市立芸術大学の出願登録が完了していることを確認

② 出願一覧から「出願内容を確認」ボタンをクリックして出願内容詳細画面を表示

③「コンビニ情報再確認」ボタンをクリックして番号等の情報を確認

3　入学考査料の支払期限を超えている出願内容については無効となりますので、手続を進めることはできません。

5　出願上の注意

(1) 出願は一つの研究領域に限ります。

(2) インターネットでの出願に際して、志願者情報の入力・確認画面では必ず入力した内容（特に生年月日・電話番号・住所）に誤りがないか、十分に確認してください。

(3) インターネット出願登録サイトからの登録だけでは出願手続完了にはなりません。入学考査料を支払った上で、必要書類を提出期間内に「簡易書留・速達」で本学に送付する必要があります。

(4) 海外在住の受験生は、DHL や EMS 等、必要書類等が提出期間内に確実に届く方法で発送してください。また、出願書類等の到着予定日について、必ず事前に教務学生課入試担当（admission-arts@kcua.ac.jp）にメールで連絡してください。

(5) 出願期間を過ぎた場合は、いかなる事情であっても受理しませんので、郵送期間を十分考慮の上、必要書類を送付してください。

(6) 官公庁その他会社等に在職中又は現在他大学の大学院に在籍中の者は、出願前に勤務先又は在籍する大学院の学長の受験許可が必要な場合がありますので、勤務先又は在籍する大学院の規程等を十分に確認のうえ出願してください。

(7) 原則として、一度提出された書類は返却しません。

6　事前相談

志望する研究領域に確認したい事項等があれば下記のとおり申し込んでください。面談を希望する場合はその旨を記載してください。ただし、面談を行うかどうかは研究領域において判断しますので、ご希望に添えない場合があります。あらかじめご了承ください。

・申込期間　　令和 8 年 11 月 4 日（水）～11 月 27 日（金）17 時

※申込は 1 回のみ受け付けます。

・相談実施期間　　令和 8 年 12 月 7 日（月）～12 月 25 日（金）

※日程等については、申込期間終了後（12 月以降）に申込者にメールで連絡します。

・申込方法　　下記の申込みフォームに必要事項を入力し、送付してください。

・申込フォーム

https://forms.gle/DojGtK7xw8y6UaWn9

・入力事項

① メールアドレス
② 電話番号
③ 氏名
④ 学校名（または最終学歴）
⑤ 学部、学科、専攻
⑥ 志望する研究領域名
⑦ 相談を希望する教員名（第 1 希望、第 2 希望それぞれ 1 名ずつ）
⑧ 面談を希望するかどうか
⑨ 現在の研究内容及び博士課程で研究したいテーマの概要（500 字以内）
⑩ 事前相談で質問したい具体的な内容（300 字以内）

※返信に時間を要する場合があります。
※携帯メールを使用する場合はドメイン（@kcua.ac.jp）を受信指定してください。
※作品や研究計画書に関するアドバイスは行いません。

第 5　受験票

必要書類の受理、入学考査料の入金を確認した後に、本学から「受験票ダウンロードメール」をお送りします。インターネット出願登録サイトから受験票をダウンロードし、試験当日までにご自身で印刷してください。

2 月 8 日（月）までに通知がない場合は、電話等により教務学生課入試担当に問い合わせてください。

第６　試験日程及び選抜試験内容等

注１　受験の詳細については、事前にメールによりお知らせします。

2　語学試験については、30 分以上遅刻した場合は受験資格を失います。口述試験については、原則として遅刻は認めません。

3　課せられた試験（作品及び論文の提出を含む）のうち一つでも受験しなかった場合は失格となり、以降の試験の受験資格を失います。

4　入学試験当日に受験できなかった場合、追試験等の特別措置及び入学考査料の返還は行いません。

5　学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻しん、水痘等）に罹患し治癒していない場合又は罹患した疑いがある場合は、他の受験生や監督者等への伝染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、症状により医師が伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。

6　その他試験方法について不明な点がある場合は、教務学生課入試担当までお知らせください。

京都市立芸術大学 教務学生課 入試担当
〒600-8601 京都市下京区下之町 57-1
TEL：075-585-2005
E-mail：admission-arts@kcua.ac.jp

1　試験日程及び選抜試験内容

［日本画、構想設計及びリベラルアーツ］

一次試験を実施します。
特に指定がない限り、提出物及び口述試験の使用言語は全て日本語とします。

研究領域	試験の内容等
日本画	書面審査（全研究領域共通小論文、作品データ） オンライン面接（2 月５日（金）予定）
構想設計	書面審査（全研究領域共通小論文、ポートフォリオ（作品写真）及び作品資料）
リベラルアーツ	書面審査（全研究領域共通小論文、論文等（必須）、ポートフォリオ（任意）、提出する論文等・ポートフォリオの概要（必須））

［全研究領域］

京都市立芸術大学において、対面試験を実施します。
日本画、構想設計及びリベラルアーツは、一次試験の合格者のみ受験できます。
特に指定がない限り、提出物及び口述試験の使用言語は全て日本語とします。

試験日時		試験の内容等
令和 9 年 3 月 3 日（水）	10:00～11:00	語学試験（共通） ※辞書持込不可 英語、フランス語から１か国語選択
	12:30～	口述試験（各研究領域にて）

2 試験に関する提出物

(1)全研究領域共通小論文 ※志願者全員が提出する必要があります。

以下の各項目について日本語で述べよ。
① これまでの自らの制作・研究について、その芸術的・学術的・社会的意義を含めた説明
②博士課程における研究テーマ及び博士課程 3 年間の研究計画

それぞれ 2,000 字以上とし、①と②を合わせて関連する写真図版 10 点以内を含めること。また、②には各年次の具体的な計画を含めること。

※上記①②の内容を1つのファイルにまとめ、A4 サイズの PDF 形式で提出すること。
※ファイル名を「志望研究領域名 受験者氏名 小論文」とすること。
※小論文には表紙のページをつけ、「志望研究領域」「氏名」を記載すること。

小論文アップロードリンク
https://www.dropbox.com/request/MA6Z2MBRzoNaZJUV3G5L

提出期間：1 月 4 日（月）～1 月 14 日（木）17:00

(2)作品及び論文の提出方法について
①作品等の提出は各研究領域の指示に従い、各自の責任において行ってください。
②持参により提出する作品等については、搬入・搬出場所及び時間帯を受験票送付時に指定します。搬入・搬出に配送業者を利用する場合でも、当日に必ず本人が立ち会ってください。指定日時以外の搬入は認めません。搬入・搬出にかかる費用は志願者負担となります。
③郵送もしくは宅配便により提出する論文、作品写真ファイル等については、「志望研究領域」「氏名」記載のうえ、下記まで送付してください。

〒600-8601
京都市下京区下之町 57-1 京都市立芸術大学 教務学生課 入試担当
TEL：075-585-2005

④Dropbox のファイルリクエスト機能により提出する作品等については、ファイルを以下のリンクからアップロードしてください。なお、アップロードにあたり、Dropbox のアカウントを作成したり、アプリをインストールしたりする必要はありません。
リンクを開くとアップロード画面に移るため、提出したいファイル又はフォルダを選択してアップロードしてください。特別な事情がなく、以下の期限までにフォルダのアップロードがなかった場合は、受験を認めません。

【Dropbox 提出先】
日本画、油画、版画、構想設計、彫刻、総合デザイン、デザインB、陶磁器、芸術学、保存修復、リベラルアーツの志願者が対象です。

作品及び論文アップロードリンク
日本画、構想設計及びリベラルアーツ：
https://www.dropbox.com/request/5OhUCqZOvxPxwF16UjaP

それ以外： https://www.dropbox.com/request/epKtenvi2H9T7OAqXLP2

提出期間
日本画、構想設計及びリベラルアーツ：
1 月 4 日（月）～1 月 22 日（金）17:00
それ以外：1 月 4 日（月）～2 月 15 日（月）17:00

※提出するファイルを１つのフォルダにまとめ、フォルダ名を「志望研究領域名　受験者氏名」とすること（例:日本画 京芸歩)。

※提出するファイルの詳細は、次ページからの「(3)各研究領域の試験内容」を必ず確認すること。

⑤郵送もしくは宅配便で提出されたポートフォリオ等は、口述試験終了後に返却します。また、返却を行わない研究領域がありますので、ご注意ください。

(3) 各研究領域の試験内容

※提出物及び口述試験における使用言語は日本語とします。

※日本画、構想設計及びリベラルアーツ領域は二段階選抜を実施します。他の領域と試験日程が異なりますので注意して下さい。

※Dropbox のアップロードリンクは2(1)及び2(2)④に記載しています。

※全研究領域小論文と各研究領域の提出物では、提出期間及びアップロードリンクが異なりますので注意してください。

① 一次試験を実施する領域（日本画、構想設計、リベラルアーツ）

【日本画】

研究領域	試験日時・提出締切		試験内容・提出物
日本画（一次試験）	出願データ登録時 1月4日(月)～ 1月14日(木)	17:00 まで	(1) 提出物 全研究領域共通小論文 （小論文を1つのファイルにまとめ、A4サイズの PDF 形式で提出） (2) 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	1月22日(金)	17:00 まで	(1) 提出物 作品データ ・提出物を1つのフォルダにまとめ、フォルダ名を「日本画 受験者氏名」とすること（例：日本画 京芸歩） ・作品データ数は20枚を上限とし、個々の画像データ容量は10MB を超えないようにすること (2) 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること ※出願書類到着後、願書に記載されたメールアドレスに作品をアップロードするためのリンクを送付するので、あらかじめ提出物のデータを用意しておくこと
	2月5日（金）	14:00～	オンライン面接(時間帯は出願後に指示)
日本画（二次試験）	3月3日（水）	10:00～	(1) 語学試験 (2) 口述試験（面接時間等詳細は一次試験合格発表後に指示） (3) 作品 ア 作品3～5点（過去5年以内に制作したもの。サイズは150号まで） イ 提出作品に関連する資料（写生、取材の記録、イメージスケッチなどの構想資料）20枚程度 (4) 搬入日時 3月3日（水）口述試験時に持参（時間帯は一次試験合格発表後に指示） (5) 搬出日時 受験者の口述試験終了後

※ Dropbox のアップロードリンクは２(1)及び２(2)④に記載しています。

※ 二次試験は、一次試験に合格した者のみ受験できます。2月16日（火）の一次試験合格発表を必ず確認してください。

【構想設計】

構想設計（一次試験）	出願データ登録時 1 月 4 日(月)～ 1 月 14 日(木)	17:00 まで	⑴ 提出物 全研究領域共通小論文 (小論文を 1 つのファイルにまとめ、A4 サイズの PDF 形式で提出) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	1 月 22 日(金)	17:00 まで	⑴ 提出物 ポートフォリオ(作品写真)及び作品資料 ・提出物を 1 つのフォルダにまとめ、フォルダ名を「構想設計 受験者氏名」とすること(例:構想設計 京芸歩) ・データの大きさは1ファイルにつき 350MB を上限とすること ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
構想設計（二次試験）	3 月 3 日 (水)	10:00～	⑴ 語学試験 ⑵ 口述試験(面接時間等詳細は一次試験合格発表後に指示)

※ Dropbox のアップロードリンクは2(1)及び2(2)④に記載しています。
※ 二次試験は、一次試験に合格した者のみ受験できます。2 月 16 日(火)の一次試験合格発表を必ず確認してください。

【リベラルアーツ】

リベラルアーツ（一次試験）	出願データ登録時 1 月 4 日(月) ～ 1 月 14 日(木)	17:00 まで	⑴ 提出物 全研究領域共通小論文 (小論文を 1 つのファイルにまとめ、A4 サイズの PDF 形式で提出) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	1 月 22 日(金)	17:00 まで	⑴ 提出物 ア 論文等（必須） ・修士課程を修了した者および修了見込みの者で、修士論文を執筆したものは修士論文の写しを提出すること（執筆中の場合は草稿の写しを提出） ・修士が論文ではなく制作であった等の理由で修士論文を執筆していない者は、研究論文・著作又はその写しを提出すること ・上記以外に論文・著作等がある者は、抜刷又はコピーを 3 点まで添付してもよい イ ポートフォリオ(任意) ・作品のポートフォリオがある者は、添付してもよい ウ 提出する論文等・ポートフォリオの概要(必須) ・全体で A4 判 1 枚程度にまとめて提出すること ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること ・提出物を 1 つのフォルダにまとめ、フォルダ名を「リベラルアーツ 受験者氏名」とすること(例:リベラルアーツ 京芸歩)

リベラルアーツ（二次試験）	3 月 3 日 （水）	10:00～	⑴ 語学試験 ⑵ 口述試験（面接時間等詳細は一次試験合格発表後に指示）

※ Dropbox のアップロードリンクは2(1)及び2(2)④に記載しています。
※ 二次試験は、一次試験に合格した者のみ受験できます。2 月 16 日（火）の一次試験合格発表を必ず確認してください。

②一次試験を実施しない領域

研究領域	試験日時・提出締切		試験内容・提出物
油画	出願データ登録時 1 月 4 日(月)～ 1 月 14 日(木)	17:00 まで	⑴ 提出物 全研究領域共通小論文 (小論文を 1 つのファイルにまとめ、A4 サイズの PDF 形式で提出) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	1 月 4 日(月)～ 2 月 15 日(月)	17:00 まで	⑴ 提出物 ポートフォリオ(作品、ドローイング、作品資料など)をまとめて、PDF 形式で提出 ・提出物を 1 つのフォルダにまとめ、フォルダ名を「油画 受験者氏名」とすること(例:油画 京芸歩) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	3 月 3 日 (水)	10:00～	⑴ 語学試験 ⑵ 口述試験 (面接時間等詳細は受験票送付時に指示) ⑶ 作品 作品 5 点 (227 ㎝×162 ㎝以内) (過去 5 年以内に制作したもの) ⑷ 搬入日時 3 月 3 日 (水) 口述試験時に持参 (時間帯は受験票送付時に指示) ⑸ 搬出日時 受験者の口述試験終了後
版画	出願データ登録時 1 月 4 日(月)～ 1 月 14 日(木)	17:00 まで	⑴ 提出物 全研究領域共通小論文 (小論文を 1 つのファイルにまとめ、A4 サイズの PDF 形式で提出) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	1 月 4 日(月)～ 2 月 15 日(月)	17:00 まで	⑴ 提出物 作品 10 点を jpeg または PDF 形式で提出(過去2年以内に制作したもの) ・ファイル名を「受験者氏名」とすること ・提出物を 1 つのフォルダにまとめ、フォルダ名を「版画 受験者氏名」とすること(例:版画 京芸歩) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	3 月 3 日 (水)	10:00～	⑴ 語学試験 ⑵ 口述試験(面接時間等詳細は受験票送付時に指示)

※Dropbox のアップロードリンクは2(1)及び2(2)④に記載しています。

彫刻	出願データ登録時 1 月 4 日(月)～ 1 月 14 日(木)	17:00 まで	⑴ 提出物 全研究領域共通小論文 (小論文を 1 つのファイルにまとめ、A4 サイズの PDF 形式で提出) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	1 月 4 日(月)～ 2 月 15 日(月)	17:00 まで	⑴ 提出物 作品写真ファイル(過去 5 年以内に制作したものを A4 サイズの PDF 形式で提出) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	3 月 3 日 (水)	10:00～	⑴ 語学試験 ⑵ 口述試験(面接時間等詳細は受験票送付時に指示) ・映像による提示が必要であればメディアを持参すること(DVD プレイヤー、プロジェクターはこちらで用意します)
総合デザイン	出願データ登録時 1 月 4 日(月)～ 1 月 14 日(木)	17:00 まで	⑴ 提出物 全研究領域共通小論文 (小論文を 1 つのファイルにまとめ、A4 サイズの PDF 形式で提出) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	1 月 4 日(月)～ 2 月 15 日(月)	17:00 まで	⑴ 提出物 ポートフォリオ(A3 サイズ)を PDF 形式で提出 ・提出物を 1 つのフォルダにまとめ、フォルダ名を「総合デザイン 受験者氏名」とすること(例:総合デザイン 京芸歩) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	3 月 3 日 (水)	10:00～	⑴ 語学試験 ⑵ 口述試験(面接時間等詳細は受験票送付時に指示) ⑶ ポートフォリオ又は作品 3 点まで(過去 5 年以内に制作したもの) ⑷ 搬入日時 3 月 3 日 (水) 口述試験時に持参 (時間帯は受験票送付時に指示) ⑸ 搬出日時 受験者の口述試験終了後
デザイン B	出願データ登録時 1 月 4 日(月)～ 1 月 14 日(木)	17:00 まで	⑴ 提出物 全研究領域共通小論文 (小論文を 1 つのファイルにまとめ、A4 サイズの PDF 形式で提出) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	1 月 4 日(月)～ 2 月 15 日(月)	17:00 まで	⑴ 提出物 過去の活動や作品の記録をまとめたもの(ポートフォリオや論文など)を PDF 形式で提出 ・提出物を 1 つのフォルダにまとめ、フォルダ名を「デザイン B 受験者氏名」とすること(例:デザイン B 京芸歩) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエストにより提出すること
	3 月 3 日 (水)	10:00～	⑴ 語学試験 ⑵ 口述試験(面接時間等詳細は受験票送付時に指示)

※Dropbox のアップロードリンクは2(1)及び2(2)④に記載しています。

陶磁器	出願データ登録時 1 月 4 日(月)～ 1 月 14 日(木)	17:00 まで	⑴ 提出物 ア 全研究領域共通小論文 (小論文を 1 つのファイルにまとめ、A4 サイズの PDF 形式で提出) イ 著書・論文があれば添付のこと ⑵ 提出方法 ア・イ Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	1 月 4 日(月)～ 2 月 15 日(月)	17:00 まで	⑴ 提出物 ポートフォリオ(作品写真ファイル) ・各作品の制作年、タイトル、技法、サイズを明記すること ・提出物を 1 つのフォルダにまとめ、フォルダ名を「陶磁器 受験者氏名」とすること(例:陶磁器 京芸歩) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	3 月 3 日 (水)	10:00～	⑴ 語学試験 ⑵ 口述試験(面接時間等詳細は受験票送付時に指示) ⑶ 作品 3 点以上(過去 2 年以内に制作したもの) ⑷ 搬入日時 3 月 3 日 (水) 口述試験時に持参 (時間帯は受験票送付時に指示) ⑸ 搬出日時 受験者の口述試験終了後
漆工	出願データ登録時 1 月 4 日(月)～ 1 月 14 日(木)	17:00 まで	⑴ 提出物 全研究領域共通小論文 (小論文を 1 つのファイルにまとめ、A4 サイズの PDF 形式で提出) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	出願時 1 月 8 日(金)～ 1 月 14 日(木)	消印 有効	⑴ 提出物 ポートフォリオ(作品写真ファイル)(2 冊まで) ・ポートフォリオ(作品写真ファイル)では、各作品の写真の近くに制作年、タイトル、技法、サイズを明記すること ⑵ 提出方法 郵送
	3 月 3 日 (水)	10:00～	⑴ 語学試験 ⑵ 口述試験(面接時間等詳細は受験票送付時に指示) ⑶ 作品 2 点(過去 2 年以内に制作したもの) ⑷ 搬入日時 3 月 3 日 (水) 口述試験時に持参 (時間帯は受験票送付時に指示) ⑸ 搬出日時 受験者の口述試験終了後

※Dropbox のアップロードリンクは2(1)及び2(2)④に記載しています。

染織	出願データ登録時 1 月 4 日(月)～ 1 月 14 日(木)	17:00 まで	⑴ 提出物 全研究領域共通小論文 (小論文を 1 つのファイルにまとめ、A4 サイズの PDF 形式で提出) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	出願時 1 月 8 日(金)～ 1 月 14 日(木)	消印 有効	⑴ 提出物 ポートフォリオ(作品写真ファイル)(2 冊まで) ・ポートフォリオ(作品写真ファイル)では、各作品の写真の近くに制作年、タイトル、技法、サイズを明記すること ⑵ 提出方法 郵送
	3 月 3 日 (水)	10:00～	⑴ 語学試験 ⑵ 口述試験(面接時間等詳細は受験票送付時に指示) ⑶ 作品 3 点(過去 2 年以内に制作したもの) ⑷ 搬入日時 3 月 3 日 (水) 口述試験時に持参 (時間帯は受験票送付時に指示) ⑸ 搬出日時 受験者の口述試験終了後
産業工芸・意匠	出願データ登録時 1 月 4 日(月)～ 1 月 14 日(木)	17:00 まで	⑴ 提出物 全研究領域共通小論文 (小論文を 1 つのファイルにまとめ、A4 サイズの PDF 形式で提出) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	出願時 1 月 8 日(金)～ 1 月 14 日(木)	消印 有効	⑴ 提出物 ポートフォリオ(作品写真ファイル)(2 冊まで) ・ポートフォリオ(作品写真ファイル)では、各作品の写真の近くに制作年、タイトル、技法、サイズを明記すること ⑵ 提出方法 郵送
	3 月 3 日 (水)	10:00～	⑴ 語学試験 ⑵ 口述試験(面接時間等詳細は受験票送付時に指示) ⑶ 作品 2 点(過去 2 年以内に制作したもの) ⑷ 搬入日時 3 月 3 日 (水) 口述試験時に持参 (時間帯は受験票送付時に指示) ⑸ 搬出日時 受験者の口述試験終了後

※Dropbox のアップロードリンクは2(1)及び2(2)④に記載しています。

芸術学	出願データ登録時 1 月 4 日(月)～ 1 月 14 日(木)	17:00 まで	⑴ 提出物 全研究領域共通小論文 (小論文を 1 つのファイルにまとめ、A4 サイズの PDF 形式で提出) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	1 月 4 日(月)～ 2 月 15 日(月)	17:00 まで	⑴ 提出物 論文 ・修士課程を修了した者及び修了見込の者は、修士論文の写しを提出のこと ・なお、修士課程を修了した者は、修了後の研究成果、もしくはそれをまとめたもの(20,000 字以内)を添付してもよい ・上記以外の者は、30,000 字以上の論文・著作、又はその写しを提出のこと ⑵ 提出方法 PDF データで Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること ・ファイル名に氏名、上記論文の種類(修士論文、レジュメ等)を記載すること ・提出物を 1 つのフォルダにまとめ、フォルダ名を「芸術学 受験者氏名」とすること(例:芸術学 京芸歩) ※本学修士課程修了者及び修了見込の者は、修士論文の写しの提出を要しない
	3 月 3 日 (水)	10:00～	⑴ 語学試験 ⑵ 口述試験(面接時間等詳細は受験票送付時に指示)

※Dropbox のアップロードリンクは2(1)及び2(2)④に記載しています。

保存修復	出願データ登録時 1 月 4 日(月)～ 1 月 14 日(木)	17:00 まで	⑴ 提出物 全研究領域共通小論文 (小論文を 1 つのファイルにまとめ、A4 サイズの PDF 形式で提出) ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること
	1 月 4 日(月)～ 2 月 15 日(月)	17:00 まで	⑴ 提出物 ア ポートフォリオ(PDF 形式) ・2 年以内に制作した作品写真 3 点を含むこと ・ポートフォリオに関する英語の要旨(200 語程度)を含むこと ・ファイル名を「受験者氏名」とすること イ 論文 ・修士課程を修了した者及び修了見込の者は、修士論文の写しを提出のこと ・なお、修士課程を修了した者は、修了後の研究成果、もしくはそれをまとめたもの(20,000 字以内)を添付してもよい ・上記以外の者は、30,000 字以上の論文・著作、又はその写しを提出のこと ・上記のレジュメを(4,000 字程度)添付のこと ⑵ 提出方法 Dropbox のファイルリクエスト機能により提出すること ・提出物を 1 つのフォルダにまとめ、フォルダ名を「保存修復 受験者氏名」とすること(例:保存修復 京芸歩) ※本専攻修士課程修了者及び修了見込の者は、修士論文の写しの提出を要しない
	3 月 3 日 (水)	10:00～	⑴ 語学試験 ⑵ 口述試験(面接時間等詳細は受験票送付時に指示) ⑶ 模写作品 2 点(過去 2 年以内に制作したもの) ※進学後の研究で模写を制作する予定がない者は不要 ⑷ 搬入日時 3 月 3 日 (水) 口述試験時に持参 (時間帯は受験票送付時に指示) ⑸ 搬出日時 受験者の口述試験終了後

※Dropbox のアップロードリンクは2(1)及び2(2)④に記載しています。

⑷ 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査（作品、論文、口述）、提出書類を総合して行います。

〔参考〕

過去 3 年間の語学の試験問題は、祝日を除く月曜日から金曜日の午前 9 時から午後 5 時までの間に限り、教務学生課入試担当事務室において閲覧することができます。また、過去 3 年間の語学の試験問題は、著作権法上の関係により掲載できないものを除いて本学ホームページ（https://www.kcua.ac.jp/）でも掲載しています。なお、電話等による照会には一切応じません。

第７　合格発表

【日本画、構想設計及びリベラルアーツ領域　一次試験】

令和 9 年（2027 年）2 月 16 日（火）午後 4 時（予定）から 3 月 4 日（木）までの間、インターネット出願登録サイト（Post@net）マイページの「出願内容一覧」から「合否結果照会」を選択し、確認してください。なお、合否結果の照会には本学受験時の「受験番号」とご自身の「生年月日」の入力が必要です。

【全研究領域】

令和 9 年（2027 年）3 月 5 日（金）午後 4 時（予定）から入学手続き期日までの間、インターネット出願登録サイト（Post@net）マイページの「出願内容一覧」から「合否結果照会」を選択し、確認してください。なお、合否結果の照会には本学受験時の「受験番号」とご自身の「生年月日」の入力が必要です。また、合格者は Post@net から必要な書類をダウンロードし、必要に応じて印刷したうえで、入学手続き期間内に入学手続きを完了してください。入学手続き期間を含む詳細についてはダウンロードした書類内に記載していますので、必ず確認してください。

※通知期間内外を問わず、合否結果についての問い合わせには一切応じません。また本学から合格通知書等の郵送は行いません。

第８　入学手続

合格者は、次のとおり入学手続を行ってください。詳細は合格通知書と共にインターネット出願システム（Post@net）マイページ上で通知します。

⑴　入学手続期間　　令和 9 年（2027 年）3 月中旬

⑵　入学料の納付　　市内出身者　282,000 円

　　市外出身者　482,000 円

注　市内出身者とは、入学前年の 4 月1日以前から引き続き京都市内に居住し、住民票の写しにより証明される者を指す。

⑶ 誓約書の提出（正・副保証人）

⑷ 入学料以外の納付金

学生教育研究災害傷害保険料	2,600 円	（3年間分）
学研災付帯賠償責任保険料	1,020 円	（3年間分）
美術教育後援会費	50,000 円	（3年間分）
	※本学出身者は 30,000 円、留学生は払込不要	
同窓会入会金	15,000 円	※本学出身者及び留学生は払込不要

〔参考〕授業料　　年額　535,800 円　（前期、後期に分割納入することができます）

注1　上記の入学料及び授業料は、令和 8 年度（2026 年度）入学者の場合であり、料金の改定があった場合は、合格者に通知します。

注2　本学には、独自の授業料減免制度があります。また、日本学生支援機構や財団法人などの奨学金制度があります。

第９　個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）に基づき本学が入学者選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学者選抜に係わる業務のほか、次のとおりです。

⑴ 利用目的について

ア　合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用します。

イ　入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用します。

ウ　入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用します。

エ　入学者選抜で取得した成績等の個人情報を 1 年次における授業料減免及び奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。

オ　入学者選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学者選抜に関する調査研究で利用します。

⑵ 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第 9 条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。
ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがあります。

ア　上記⑴ア～オの個人情報を取り扱う業務を、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者に委託する場合

イ　本学の教育後援会、同窓会に情報提供する場合（合格者のみ）

第 10　美術研究科博士（後期）課程の概要

本博士（後期）課程は、日本の古都・京都にあって、日本の美術教育・研究の先進的中核を担ってきた京都市立芸術大学に属する高度の美術専門研究課程である。千二百年を越える芸術文化の創造的伝統が高度に集積する京都という立地条件を背景に、最高水準の研究教育の場を提供する組織として、各領域の専門的研究とともに領域を横断する知的芸術的交流を促進すると同時に、現代社会の大きな変化をふまえ、国際交流および地域社会との交流を重視している。

本博士（後期）課程の基本構想は以下の4つの柱からなる。

⑴　専門的研究が出会い、深化する場

本課程は、第一に、大学院修士課程等において獲得した専門的技能及び知識を、広い視野を持ってさらに深化拡充する場として位置づけられている。この目的のため、専門研究を担う 14 の専門領域を設けてそれぞれ独自の研究教育をすすめるとともに、全領域を美術専攻として単一組織にまとめてひとつの独立棟に配し、空間的・物理的にも交流が容易となるように工夫している。また、カリキュラム上でも相互交流と広領域的なアプローチをサポートする科目を提供する。

⑵　国際的な芸術教育・研究の場

本課程は、第二に、芸術研究における高度な国際交流の場として構想されている。長い歴史の中で伝統と革新がつねに共存してきた世界的にも希有な京都という古都にあって、世界に開かれた広い視野をもって次世代の芸術文化創造を担う人材を育成するため、外国人留学生に対しても特別入試を実施し、また交換留学プログラムや客員研究員の受け入れ等、国際的な芸術的学術的交流を推進する。

⑶　社会人再教育の場

本課程は、第三に、すでに社会人として活動している美術家・工芸家・企業等に属するデザイナーおよび研究機関等に属する美術研究者に対し、高度な水準での研究・研鑽を行う場を提供する。これは、個々の制作者・研究者それぞれが新たな研究展開をはかるとともに、彼らが活動する社会や所属する機関にその知見を還元し、創造的活力を高める上でも重要な意味を持つ。この目的のため、社会人に対して特別入試を実施する。

⑷　芸術と社会の交流の場

本課程は、第四に、社会や地域に開かれた高度な芸術研究機関として、展覧会やワークショップ、公開講座、地域の芸術関連産業等に対する相談事業、産学共同研究などを通して、研究成果を社会に積極的に公開する。

第 11　履修課程及び修了要件

履修課程

履修区分	授　業　科　目	履修単位		
		小計	中計	合計
必修科目	研究領域研究指導			11
	造形計画論研究	1	3	
	総合制作・理論演習	2		
各領域 必修科目	領域研究演習	8	8	

〔履修方法及び修了要件〕

必修科目のうち、「総合制作・理論演習」及び「造形計画論研究」2科目計3単位、各領域必修科目から「領域研究演習」8単位以上を修得し、「研究領域研究指導」により博士論文等を作成・提出して、審査及び最終試験に合格すること。

※美術研究科博士（後期）課程においては、以下の制度を利用できます。

・在学延長制度

博士（後期）課程修了に3年以上在籍し、必要な単位を全て修得後、研究継続のため引き続き在学を希望する場合に、在学年限（5年間）を超えない範囲で認められます。

・特別科目等履修生（博士課程）

博士（後期）課程を満期退学後、改めて入学金と授業料を納付して研究指導や学位審査を受けることができます。ただし、大学設備や制作スペースを使用することはできません。

第 12　授業等の内容

⑴ 研究領域研究指導（博士論文・作品指導）

各学生に応じた指導スタッフが確立され、作品制作を含めて、博士論文等を作成するために必要な研究指導がなされる。学生は定期的に研究計画書と研究報告書を提出することが義務づけられている。指導スタッフは各学生に対し、主任指導教員1名、副指導教員2名で構成される。

⑵ 領域研究演習（専門研究）

各学生がそれぞれの研究領域において自己の研究を展開していくための演習であり、主任指導教員を中心に、その研究領域に属する他の教員もしくは学生の行う研究内容と関連する他の領域の教員が副指導教員として加わって指導に当たる。学生は半期ごとの授業を4回（8単位）履修するが、それぞれの内容に応じて副指導教員を変更することもできる。

⑶ 総合制作・理論演習（ゼミ形式での演習発表）

本演習は、学生各自の専門テーマを深化発展させるとともに、領域を超えた交流の場として、制作理論上の新たな展開を促すことを目的としている。学生は、指導教員を含む他の教員、学生等の前で自己の研究成果を発表し、ディスカッションを行う。博士課程在籍中に学生は 2 回の発表を行わねばならず、特に 2 回目は学位申請に向けて重要な意味を持つ。

⑷ 造形計画論研究

博士課程担当教員が分担して毎週1回の授業を受け持ち、各専門領域ないし広領域の芸術上の諸問題について講義やディスカッション等を行う。また論文作成技術等に関する講義も組み込まれ、レポートが課される。

論文博士について

本学には、博士（後期）課程を経ての学位取得とは別に論文博士の制度が設けられています。

本学の博士（後期）課程を経ない者であっても、本学の博士（後期）課程を修了した者と同等以上の学力を有することが確認され、博士論文の審査に合格した者に対して博士の学位を授与するものです。

なお、博士論文審査に申請する際、博士論文審査手数料として 57,000 円が必要となります。

また、博士論文審査の申請に先立ち、博士論文の主題等に適合する領域の教員に連絡を取り、論文の出願をしたい旨、相談してください。本学の教員については、本学ホームページ「美術学部・大学院」のページで確認することができます。

〔論文博士に関する問合せ先〕

京都市立芸術大学　教務学生課　美術教務担当

Tel：075-585-2002

E-mail：fineart@kcua.ac.jp

〔論文博士以外に関する問合せ先〕

京都市立芸術大学　教務学生課　入試担当

Tel：075-585-2005

E-mail：admission-arts@kcua.ac.jp

試験会場

京都市立芸術大学（〒600-8601 京都市下京区下之町 57-1）

◆試験会場への略図



◆試験会場への交通機関

●JR・地下鉄・近鉄電車

JR（京都線・琵琶湖線・嵯峨野線・奈良線）、地下鉄烏丸線、近鉄京都線

京都駅から徒歩約 6 分（A 棟まで）

●京都市バス

4・7・16・81・205・南5 系統

「塩小路高倉・京都市立芸術大学前」から下車すぐ （A棟まで）

●京阪本線

七条駅から徒歩約7分（I棟まで）

注　交通機関の利用については、路線及びダイヤの変更に留意するとともに、周辺の交通事情等を事前に把握し、試験当日、指定の時刻に遅れることのないよう注意してください。

令和 8 年（2026 年）11 月
京都市立芸術大学 教務学生課 入試担当

〒 600-8601
京都市下京区下之町 57-1
Tel 075-585-2005
E-mail admission-arts@kcua.ac.jp
https://www.kcua.ac.jp

様式１

京都市立芸術大学大学院美術研究科博士（後期）課程
出願資格認定審査申請書

（第２ 出願資格 1(8)関連）

年　　月　　日

美術研究科長　殿

出願資格の個別審査を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

ふりがな		性別	男 ・ 女
氏　　名			
生年月日	年　　月　　日　（　　歳）		
出願領域	領　域		
希望指導教員	教　員		
出身学校（最終）※	年　　月　卒業（修了）・卒業見込		
現住所	〒　　－		
受信先	〒　　－ □同上（現住所と同じ場合は、レ点を記入してください）		
連絡先	自宅　（　　）　　－ 携帯　（　　）　　－ Email　（　　）		

※出身学校には、最終学歴の学校名、学部・学科等を記載してください。

様式２

京都市立芸術大学大学院美術研究科博士（後期）課程
社会人・留学生特別選抜資格認定審査申請書

年　　月　　日

美術研究科長　殿

以下の個別審査を受けたいので、下記のとおり申請します。

記

・審査を希望する事項

①　☐社会人特別選抜受験資格　・　☐留学生特別選抜受験資格　（いずれかにレ点を記入）

②　☐出願資格（第２ 出願資格 1(8)関連）　（出願資格認定も希望する場合はレ点を記入）

ふりがな		性別	男　・　女
氏　　名			
生年月日	年　　月　　日　（　　歳）		
出願領域	領　域		
希望指導教員	教　員		
出身学校（最終）※	年　　月　卒業（修了）・卒業見込		
現勤務先			
現住所	〒　　－		
受信先	〒　　－ ☐同上（現住所と同じ場合は、レ点を記入してください）		
連絡先	自宅　（　　）　　－ 携帯　（　　）　　－ Email　（　　）		

※出身学校には、原則修士課程を修了又は修了見込の大学名、研究科・学科等を記載してください。出願資格認定を希望する場合は、最終の出身学校を記載してください。

職名については2026年11月1日現在
☆印は、2028年3月31日に退任予定の教員を示す。
☆☆印は、2029年3月31日に退任予定の教員を示す。
☆☆☆印は、2030年3月31日に退任予定の教員を示す。

教員の研究領域研究指導における指導資格については
2026年11月1日現在
(主)は、主任指導教員となれる教員を示す。
(副)は、副指導教員となれる教員を示す。
※ は、研究領域研究指導において指導教員となれないが、領域研究演習は担当可能である教員を示す。

研究領域・担当教員	研究指導内容
日本画	日本画の技術と理論の研究を通して日本画の創作を研究する。伝統的基盤を踏まえ、技法及び理論面での高度の研鑽を積み、新たな日本画の創造をはかる。
(主) 川嶋 渉 教授	● **日本画表現における技法および物性に関する領域横断的研究**
(主) 翟 建群 教授	● **日本画制作一般、および日本と中国を広域的にとらえた絵画表現研究**
(主) 奥村 美佳 教授	● **日本画制作一般、並びに日本画素材と表現技法の研究**
(主) 小島 徳朗 教授	● **日本画表現に在る原理から発展的に制作を探求する表現研究**
(主) 正垣 雅子 准教授	● **日本画表現の理論と実践に基づく模写制作を軸とした日本を含む東洋の古典絵画の表現研究**
(副) 谷内 春子 准教授	● **日本画表現を用いた空間表現の可能性を探求する制作研究**
(副) 三橋 卓 准教授	● **日本画制作一般、並びに岩絵具を中心とした絵画表現の制作研究**
油画	油画を中心とした技術による実技と理論の研究を通して絵画の創作を研究する。絵画表現の理論研究とともに、目的に応じた絵画材料や基底材(壁面を含む)の使用法について広汎かつ高度な研究を行い、新たな絵画世界の創造をはかる。
(主) 法貴 信也 教授	● **絵画を中心とした技法による作品制作研究**
(主) 金田 勝一 教授	● **絵画を中心とした技法による作品制作研究**
(主) 伊藤 存 教授	● **絵画を中心とした技法による作品制作研究**
(副) 三宅 砂織 准教授	● **絵画を中心とした技法による作品制作研究**
(副) 谷澤 紗和子 准教授	● **絵画及び領域横断する視覚表現を用いた、社会との関係に基づく作品制作の研究**
(副) 唐仁原 希 准教授 (着任予定)	● **絵画を中心とした技法による作品制作研究**
版画	版画の諸技法と理論の研究を通して版画の創作を研究する。「版」特有の表現方法の研究とともに、技法の広汎かつ高度な研究を行い、新たな「版」表現の創造をはかる。
(主) 田中 栄子 教授	● **版画制作及び絵画表現を用いた作品制作研究**
(主) 大西 伸明 教授	● **版画制作及びオブジェ・マルチプルの制作研究**
(主) 吉岡 俊直 教授	● **版画制作及びデジタルメディアを用いた制作研究**
※ 王 木易 講師	● **版画制作及びミクストメディアを用いたインスタレーション制作研究**
構想設計	映像、コンピュータ、音響などを含む表現媒体を用いたメディア・アートの創作を研究する。表現媒体としてのメディアそのものの理論的考察を踏まえ、現代的な多様なメディアについて広汎かつ高度な研究を行いつつ、新たな表現世界の創造をはかる。
(主) 石橋 義正 教授	● **映画・映像作品、舞台、パフォーマンスの研究**
(主) 木村 友紀 教授	● **コンセプチュアルな思考を重視した芸術表現の研究**
(主) 田中 功起 准教授	● **社会的でコンセプチュアルな現代美術の制作研究**
(主) 津田 道子 准教授	● **映像や身体など多様なメディア、及びその関係に意識的な表現の制作研究**
彫刻	彫刻の実技と理論の考察を通して、彫刻の創造研究を行う。空間的、立体的表現に関する理論の研究とともに、表現意図に応じた素材、技術の広汎かつ高度な研究を行い、空間や立体に作用する諸要素も計測に入れて、新たな彫刻表現の創造をはかる。
(主) 安藤 由佳子 教授	● **都市生活における日常性、個人と社会の関係に基づく視覚的アプローチについての制作研究**
(主) 金氏 徹平 准教授	● **現代社会における空間や事物の新たな関係性についての制作研究**
※ 持田 敦子 講師 (着任予定)	● **建築や空間に介入するインスタレーション表現の制作研究**
総合デザイン	デザインにおける様々な領域について表現・理論の両面から広汎かつ高度な制作研究を行う。
(主) 楠田 雅史 教授 ☆	● **グラフィックデザイン全般とグラフィックデザインのインテリアデザインへの展開に関する制作研究**
(主) 舟越 一郎 教授	● **グラフィックデザイン全般に関する制作研究**
(主) 島田 陽 教授	● **家具から公共建築迄、様々なスケールの環境デザインにおいて、形態や色彩が人々の認識にどのように影響を与え作用するかについての研究**
(主) 長谷川 江利子 准教授	● **プロダクトデザインを中心とする制作研究、また企画構想デザインの研究を指導**
(副) 片山 奈美 准教授	● **グラフィックデザイン全般と、そこから発展されるテキスタイルデザインやCMFデザインに関する制作研究**
デザインB	様々な領域や文化に対する詳細な観察と繊細な理解を深め、社会のより良い発展に寄与するデザインと社会の新たな結びつきを提案するための理論的研究及び実践的研究を行う。
(主) 髙井 節子 教授	● **空間、時間、社会、文化、人間などの相互関係のデザインと環境デザインに関する制作研究**
(主) 牛田 裕也 准教授	● **形や意匠から受ける感覚的表現を具現化するための制作研究**
(副) 谷川 嘉浩 講師	● **感性と知性の協働に基づく制作、そして、文献と作品の適切な解釈と言語化の実践というプラグマティックなデザイン研究の指導**
※ 金原 佑樹 特任講師 ☆☆☆	**人とテクノロジーの関係性に着目したデザイン及びプロトタイピングによる創造的実践に関する制作研究**

研究領域・担当教員			研究指導内容
陶磁器			陶磁素材による創作とその理論を研究する。伝統的な陶磁器制作の研究を踏まえ、新たな視点から技法研究や陶磁素材を用いた表現の理論的研究を行い、現代における陶磁表現の実践的研究を行う。
（主） 森野 彰人	教授		● **陶磁器の幅広い技法と表現を「装飾」や、「近代京焼の歴史」の観点から考察し、創造的作品制作の研究を指導**
（主） 若杉 聖子	准教授		● **「人間のこころ」「社会共同体」「自然」をテーマとした陶磁器デザイン及びやきもの表現の可能性の研究を指導**
※ 上田 順平	准教授		● **やきものによる芸術表現について、人間、空間、時間との関係から考察する制作研究を指導**
※ 西條 茜	講師		● **陶磁器という素材や技術に内包される「身体性」をキーワードに、人ともの、人と人との関係性についての表現を研究**
漆工			漆を素材とした創作とその理論を研究する。伝統的な漆工制作の研究を踏まえ、塗装方法の比較研究と広く漆を用いた表現の理論的研究を行い、現代的な漆芸作品の創作を行う。
（主） 安井 友幸	教授		● **乾漆技法と様々な素材による漆造形の可能性に関する制作研究**
（主） 笹井 史恵	教授		● **漆造形の可能性と蒟漆技法に関する制作研究**
（副） 大矢 一成	准教授		● **漆と木を活かした造形制作と技術・表現に関する制作研究**
（着任予定）			
染織			染織に関する創作とその理論を研究する。伝統的な染織制作の研究を踏まえ、新たな視点からの技法研究及び広く繊維を用いた表現の研究など、現代における染織表現の実践的研究を行う。
（主） 藤野 靖子	教授	☆☆☆	● **織技法を用いた創作に関する実技研究**
（主） 日下部 雅生	教授	☆☆☆	● **型染による創作に関する実技研究**
（主） 藤井 良子	准教授		● **テキスタイルデザインおよび染織技法・素材の活用に関する制作研究**
（副） 安藤 隆一郎	准教授		● **蝋染の実技研究及び、他視点からの考察による染織の可能性の研究**
（着任予定）			
産業工芸・意匠			地域特有の産業活動にふさわしい形態デザイン、装飾デザインの実技と理論を研究する。伝統的な工芸意匠、加飾などデザインの研究とその応用化、産業化についての検証を行い、京都デザイン、日本的デザインなど工芸意匠の創造的研究を行う。
（主） 森野 彰人	教授		● **陶磁器の幅広い技法と表現を「近代京焼の歴史」「道具」「技術」「生産」の観点から考察し、創造的作品制作の研究を指導**
（主） 舟越 一郎	教授		● **グラフィックデザイン全般に関する制作研究**
芸術学			芸術現象を対象とした芸術学の理論的研究を行う。芸術現象を対象とした理論的研究、歴史的研究や芸術環境に関する理論的研究、芸術振興に関する研究及び芸術形態に関する高度な理論研究を行う。
（主） 田島 達也	教授	☆☆☆	● **日本絵画史全般の歴史的研究**
（主） 礪波 恵昭	教授		● **日本彫刻史全般の歴史的研究**
（主） 畑中 英二	教授		● **日本を中心とする地域における陶磁器の歴史的研究**
（副） 飯田 真人	教授		● **日本の学校における造形・美術工芸教育についての研究**
（主） 竹浪 遠	教授		● **中国絵画を中心とする東洋美術の歴史的研究**
（主） 深谷 訓子	教授		● **西洋美術史全般の歴史的研究及び西洋近世の美術理論研究**
（主） 砂山 太一	准教授		● **メディア技術や情報技術を経由した美術・デザインの理論および実技研究**
（副） 加茂瑞穂	講師		● **日本を中心とした染織工芸に関する歴史的研究**
保存修復			文化財の保存及び修復の技術とその理論の研究を行う。日本、東洋の絵画を中心に、文化財の模写、復元を含む修復研究の実技的研究を行うとともに、保存修復に関する素材・技法についての科学的研究を行う。
（主） 宇野 茂男	教授	☆	● **保存修復技術に関して全般的な指導を行うとともに、特に、日本、東洋の絵画を中心とした修復・復元技術に関する実技的な指導**
（主） 竹浪 遠	教授		● **東洋絵画の保存修復技法に関する歴史的研究**
（主） 高林 弘実	教授		● **文化財の材料・技法および保存修復に関する自然科学的研究**
リベラルアーツ			様々な学問と芸術の交差領域の研究を行う。芸術的視点・アプローチから既存の学術研究に新たな展開をもたらす研究や、学術的視点から芸術の創作に取り組む研究を行う。
（主） 飯田 真人	教授		● **美術教育とリベラルアーツの交差領域の研究**
（副） 上 英俊	教授		● **健康科学・保健体育と芸術の交差領域の研究**
（主） 玉井 尚彦	准教授		● **言語学・英語学と芸術の交差領域の研究**
（主） 磯部 洋明	准教授		● **物理学・宇宙物理学を中心とした自然科学および科学コミュニケーションと芸術の交差領域の研究**
（主） 中村 翠	准教授		● **文学と芸術の交差領域の研究**
（主） 堀田 千絵	准教授		● **心理学と芸術の交差領域の研究**
（副） 戸澤 幸作	講師		● **哲学と芸術の交差領域の研究**
（副） 村上 裕美	講師		● **経済学と芸術の交差領域の研究**

論文指導教員	田島 達也	教授	礪波 恵昭	教授	畑中 英二	教授
	竹浪 遠	教授	飯田 真人	教授	上 英俊	教授
	深谷 訓子	教授	玉井 尚彦	准教授	磯部 洋明	准教授
	中村 翠	准教授	砂山 太一	准教授	堀田 千絵	准教授
	戸澤 幸作	講師	村上 裕美	講師	加茂 瑞穂	講師